

事業所名	障がい児通所支援事業所 クレヨン2 (児童発達支援)
------	-------------------------------

支援プログラム

作成日

2024 年

11 月

1 日

法人(事業所)理念	乳幼児、障がいを持つ子供や父母に対して、病気・障がいのアドバイス。 子ども達との自然との触れ合い、集団生活のマナーを覚える、豊かな心を育てる								
支援方針	子ども達の健全なこころと体つくりをする活動								
営業時間	平日	9 時	0 0 分から	16 時	0 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし		
	支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 利用児毎回の体温測定をし、気分の把握に努める 健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にする事などの生活に必要な基本的なスキルの向上に繋げられる様、適切な時期に適切な支援を行う 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ビジョントレーニング(微細運動・粗大運動等)や普段の遊び(公園の遊具・散歩・感覚遊び等)を通して力の加減の上達や体づくりをする。 感覚の特性(感覚の過敏等)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ひらがな、数字に対する理解度などを考慮しながら、ビジョンや普段の遊びの中から認識を促進する物を提供し、興味や楽しさを引き出す 本児が望ましい行動を取った時には褒める事で自己認識や自信を高め、問題のある行動に対しては指摘をし、適切な行動を促す様にする 一人一人の認知の特性を理解し、情報を適切に処理できるよう支援する。こだわりや偏食等に対する支援も行う。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 障がいの程度、興味関心等に応じて言葉だけでなく表情や身振り等を用いてコミュニケーションに必要な基礎的能力を身に着けられる様支援する 本児の言語能力などを把握し、沢山話しかけ絵本やカードなどの教材などを使い真似る、表現の方法や伝え方などの方法のバリエーションを増やし関わることで発声・発語・言葉の明瞭度の向上などを促していく 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが基本的な信頼感を持つことが出来る様、環境・人に対する安心感、信頼感を育む支援・環境作りをする おままごとやごっこ遊び等、人と関わる遊びなどを通して、お友達と一緒に遊ぶ楽しさ、嬉しさを感じ、社会性の発達を支援する 集団に参加するための手段やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 毎日の様子や状況等を連絡ノートや送迎時に直接伝え、支援計画の切り替え時や保護者からの要望(子育ての困り事など)・事業所から伝えたい事がある時など、面談の機会を作り本児の様子を共有し相談支援などを行う 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 希望に応じて保育園・幼稚園との同時利用や小学校入学に対し情報を共有し、入所・入園・入学等に向けて各所と連携をとる 					
地域支援・地域連携									
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 各季節のイベント行事(いちご狩り、遠足、ゲーム大会、夏祭り、七夕、BBQ、ハロウィン、クリスマス会、節分、ひな祭り、運動会、誕生日会など) 食育(偏食等に対する支援) 		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 毎日朝礼及び文書のミーティング 全職員が利用児童に同様の支援が出来る様にします 研修期間(採用後3ヶ月)・内外部の研修 				

事業所名	障がい児通所支援事業所 クレヨン (放課後等デイサービス)	支援プログラム	作成日	2024年	11月	1日
法人(事業所)理念	乳幼児、障がいを持つ子どもや父母に対して、病気・障がいのアドバイス。子ども達との自然との触れ合い、集団生活のマナーを覚える、豊かな心を育てる					
支援方針	子ども達の健全なこころと体つくりをする活動					
営業時間	平日 土 学校休日	9時 9時 9時	00分から 00分から 00分から	17時 15時 17時	00分まで 00分まで 00分まで	送迎実施の有無 あり なし
	支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 利用児毎回の体温測定をし、気分の把握に努める 健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 生活に必要な基本的技能(身の回りの清潔)の向上、生活の場面における環境の工夫を行いながら、本児の状態に応じて適切な支援をする 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ビジョントレーニング(微細運動・粗大運動等)や普段の遊び(公園の遊具・散歩・感覚遊び等)を通して力の加減の上達や体づくりをする 感覚の特性(感覚の過敏等)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 取得した情報を過去の情報と照合し、環境や状況を把握・理解出来る様にするとともに、これらの情報を的確な判断や行動に繋げる事が出来る様支援を行う。 本児が望ましい行動を取った時には褒める事で自己認識や自信を高め、問題のある行動に対しては指摘をし、適切な行動を促す様にする 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う 一人一人の認知の特性を理解し、情報を適切に処理できるよう支援する。こだわりや偏食等に対する支援も行う。 				
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振りなどを用いて意志のやり取りが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力の向上を促し、人との関わり方の向上に繋げていく 発達障害のある子どもなど特性に応じた読み書き能力の向上や発声・発語・言葉の明瞭さの向上などに繋がる様支援を行う 普段の生活の中や遊びの中でソーシャルスキルを伸ばすトレーニング・遊びやゲーム等を行い、他者との関わり方、コミュニケーションの向上を図り一緒に遊ぶ楽しさを共有し、集団での対話・ディスカッション(デイでの場面としては、何で遊ぶかなどが主になってくる)の場を儲け、他者の意見や視点を尊重する環境を提供する 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団に参加するための手順やルールを理解し(事前の声掛け・都度の注意等を行う)、子どもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう 子どもが基本的な信頼感を持つことが出来る様、環境・人に対する安心感、信頼感を育む支援・環境作りをする 自身の感情や気持ちの変化の幅を安定させることが出来る様援助し、変化の幅が小さく安定した情緒の下で生活が出来る様支援する 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の様子や状況等をノートや送迎時に直接伝え、支援計画の切り替え時や保護者からの要望(子育ての困り事など)・事業所から伝えたいことがある時など、面談の機会を作り本児の様子を共有し相談支援など行う 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 希望に応じて中高生向けの放課後等デイサービスなどの情報を共有し、入所・入学に向けて各所と連携をとる 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関との連携(相談支援事業所、学校、他事業所、子ども支援センター、医療機関等) 自立支援協議会への参加 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 毎日朝礼及び文書のミーティング 全職員が利用児童に同様の支援が出来る様にします 研修期間(採用後3ヶ月)・内外部の研修 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 各季節のイベント行事(いちご狩り、遠足、ゲーム大会、夏祭り、七夕、BBQ、ハロウィン、クリスマス会、節分、ひな祭り、運動会、誕生日会など) 食育(偏食等に対する支援) 					